

平成22年人文学部人間情報学科  
 教員研究業績一覧（2010.1.1—12.31）  
 Academic Achievements in 2010 :  
 Department of Human Sciences, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

**哲学・思想論講座**

- 篠原成彦 ⑤ 1)「色について」（7月17日，哲学若手研究者フォーラム，テーマレクチャー，国立オリンピック記念青少年センター）[単独] 2)「事物が色をもつとはどういうことか」（9月25日，九州大学哲学大会，シンポジウム提題，九州大学）[単独]  
 ⑥ 「あなたの見ている景色はどこにある？：知覚の謎」（松本市民哲学の会主催，松本市中央公民館共催，「哲学の散歩道」，6月12日，松本市中央公民館）[単独]
- 早坂俊廣 ③ 1)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の四」（『白山中国学』第16号，pp.65-170）[共著] 2)「全祖望『書院記』訳注」（『平成17年度～21年度文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究 東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成—寧波を焦点とする学際的創生—研究報告書』第3巻，pp.587-636）[共著] 3)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の五」（『東洋古典学研究』第29集，pp.147-186）[共著] 4)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の六」（『東洋古典学研究』第30集，pp.141-189）[共著] ④ 1)「《新刊案内》天一閣博物館編『別宥斎蔵書目録』」（『東アジア海域交流史 現地調査研究—地域・環境・心性—』第4号，pp.181-182）[単著] 2)「現地調査部門 5年間の活動と総括」（前掲『研究報告書』第3巻，pp.5-10）[単著] 3)「寧波学術班 5年間の活動と総括」（同上，pp.538-540）[単著] ⑤ 「全祖望と鈔書の世界史」（日本中国学会第六十二回大会，10月10日，広島大学文学部）[単独] ⑥ 1)「現代中国と新儒教」（日中関係を考える連続市民講座第13期第2回，サンバルテ山王，1月28日）[単独] 2)「修身とはどういうことか？—中国哲学とくいま—」（松本市民哲学の会主催・松本市中央公民館共催講座「哲学の散歩道」第2回，5月15日，松本市中央公民館）[単独] 3)「中国の思想世界に学ぶ」（教員免許状更新講習，7月31日，信州大学人文学部）[単独]
- 三谷尚澄 ② 「マクダウエルはセラーズをどう理解したのか：『みえるの語り』の選言主義的解釈をめぐる一考察」（『人文科学論集〈人間情報学科編〉』，第44号，pp.1-20）[単著]  
 ⑤ 「『感覚印象』をめぐるセラーズの理解は変化したのか」（関西哲学会，10月17日，同志社大学）[単独] ⑥ 1)「セラーズ哲学の全体的解明を目指して：ブランダム／マクダウエルとの比較を通じた考察」（平成21年～22年度科学研究費補助金（若手スタートアップ），課題番号21820016，研究代表者） 2)「死の意味／生の無意味：『悲しみ』をめぐる西田幾多郎の思索から」（松本市民哲学の会，「哲学の散歩道」，5月22日，松本市中央公民館

Mウイング) 3)「人文学の道場：出前稽古編」(信州大学模擬授業, 7月22日, 伊那北高校) 4)「道徳を實踐する人間：自然の中の不自然な存在」(安曇野市市民大学講座, 「安曇野セミナー」, 11月10日, 安曇野市豊科公民館)

護山真也 ② 1)「プラジュニャーカラグプタによる主宰神の全知者性批判」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』第44号, pp.21-36) [単著] 2) “On Self-Awareness in the Sautrāntika Epistemology,” (*Journal of Indian Philosophy*, 38, pp. 261-277) [単著] ④ 1)「ブッディスト・ボヘミアンの黄昏」(『財団法人東京大学仏教青年会創立九十周年記念誌』, pp.60-62) [単著] 2) 書評：守屋友江編訳・根本敬解説『ビルマ仏教徒民主化蜂起の背景と弾圧の記録』(浄土真宗本願寺教伝道研究センター：仏教書レビュー：URL：<http://crs.hongwanji.or.jp/kyogaku/review/index.htm>) [単著] ⑥ シンポジウム「いま、哲学すること」(第一回信州大学哲学懇話会大会, 6月19日, 信州大学人文学部) [パネリスト]

### 心理学・社会心理学講座

今井 章 ② 1)「事象関連電位によるデルブーフ錯視の検討(2)―対比過程における脳の応答について―」信州大学人文学部人文科学論集〈人間情報学科編〉, 44, 55-66頁 [共著] 2)「天気図理解に及ぼす諸要因の検討」*認知科学*, 17, 670-680頁 [共著] ⑤ 1)「事象関連電位による色認知と表情認知の相互作用の検討」第28回日本生理心理学会大会予稿集, 46-46頁 (5月15日, 茨城大学) [共同] 2)「色彩と3次元物体の形状が心理的・生理的反応に及ぼす影響」日本認知科学会第27回大会発表論文集 CD-ROM (9月17日, 神戸大学) [共同] 3)「リップスの大きさ錯視による事象関連電位」日本心理学会第74回大会発表論文集, 550-550頁 (9月21日, 大阪大学) [単独] 4)「脳磁図によるベータ運動の検討―信号推定値の時系列的分析―」日本基礎心理学会第29回大会発表予稿集, 62-62頁 (11月27日, 関西学院大学) [共同] ⑥ 1) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成21年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について―安全運転のために―』」(1月21日, 長野県松本文化会館) [単独] 2) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成22年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について―安全運転のために―』」(7月8日, 長野県松本文化会館) [単独]

内藤哲雄 ② 1)「地域の高齢化と活性化」(*応用心理学研究*, 第35巻第2号, 102-118.) [共著] 2)「パートタイム労働者のキャリア発達, 組織・職務へのコミットメントの変容に関するPAC分析」(人文科学論集〈人間情報学科編〉第44号, P37-54.) [共著] ⑤

1) Measures to aging in Japan (Abstracts of the 27th International Congress of Applied Psychology, 367-368. July 2010 Melbourne, Australia) [共著] 2) Analyses of personal attitude construct on interpersonal relations in Japan and Malaysia. (Abstracts of the 27th International Congress of Applied Psychology, 1407-1408. Melbourne, Australia) [単著] 3) ホワイトカラーの職業的アイデンティティに関するPAC分析 (産業・組織心理学会第26回大会発表論文集, 29-32. 東京富士大学) [共著] 4) 中国人留学生による母国の人間関係のPAC分析 (日本応用心理学会第77回大会発表論文集,

115. 京都大学) [単著] 5) 中国のイメージのPAC分析 (日本社会心理学会第51回大会発表論文集, 676-677. 広島大学) [単著] 6) インドネシア人留学生による日本人の人間関係と対人葛藤のスキーマ (日本心理学会第74回大会発表論文集, 263. 大阪大学) [単著] ⑥ 1) 異文化と人間関係 (安曇野市主催市民大学講座 (10月13日) 明科公民館) [単独] 2) 看護師のための対人コミュニケーション (〈看護職学習支援部門 リカレント教育 公開講座〉 (10月16日) 新潟県立看護大学看護研究交流センター事業) [単独]
- 高瀬弘樹 ② 1) 「姿勢動揺と認知的負荷の関連」 (人文科学論集〈人間情報学科編〉, 44, 67-73.) [単著] 2) 「Emotional level of sadness for normal and dementia subjects by NIRS」 (International Journal of Assistive Robotics and Systems, 11, 1-9.) [共著] ⑤ 1) 「事象関連電位による色認知と表情認知の相互作用の検討」 (第28回日本生理心理学会大会, 5月15日, 茨城大学) [共同] 2) 「色彩と3次元物体の形状が心理的・生理的反応に及ぼす影響」 (日本認知科学会第27回大会, 9月17日, 神戸大学) [共同] 3) 「脳磁図によるベータ運動の検討—信号源推定値の時系列的分析—」 (日本基礎心理学会第29回大会, 11月27日, 関西学院大学) [共同]
- 長谷川孝治 ① 「自己の表現 (第14章)」 (浦光博・北村英哉 (編) 『展望 現代の社会心理学 1 個人のなかの社会』, 誠信書房, 272-293.) [共著] ⑤ 1) 関係性高揚が弱まる時—未知の干渉者の出現が友人関係認知に及ぼす影響— (日本グループ・ダイナミクス学会第57回大会, 8月28日, 東京国際大学; 発表論文集, 38-39) [単独] 2) 文化的イベントとソーシャル・キャピタル及び精神的健康の関連 (日本社会心理学会第51回大会, 9月17日, 広島大学; 発表論文集, 32-33) [共同] 3) 友人関係への干渉者と友人の謝罪が関係性高揚の変動に及ぼす影響—友人ネットワークの境界密度の調整効果— (日本心理学会第74回大会, 9月22日, 大阪大学; 発表論文集, 233) [単独] 4) 低自尊心者の下方らせん過程—低自尊心者と高自尊心者の安心さがし— ワークショップ114 (日本心理学会第74回大会, 9月22日, 大阪大学; 発表論文集, WS 57.) [単独] 5) 社会的活動への参加と社会関係資本の諸側面—ポジション・ジェネレータを用いた分析— (日本社会心理学会第51回大会, 9月17日, 広島大学; 発表論文集, 34-35) [共同] ⑥ 1) 「他者を知り, 自分を知る心理学」 (大学模擬講義, 9月2日, 佐久市立野沢北高等学校) [単独]
- 清水健司 ② 1) 「対人恐怖心性-自己愛傾向2次元モデルにおけるストレス過程」 (『人文科学論集』〈人間情報学科編〉, 43, 75-84) [共著] 2) 「対人恐怖心性-自己愛傾向2次元モデルにおける認知特性の検討—対人恐怖と社会恐怖の異同を通して—」 (『教育心理学研究』, 58, 23-33) [共著] ⑤ 1) Social skill deficits and responses to stressors in elementary school children. (6<sup>TH</sup> World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies, Boston University 2010年6月) [共同] 2) 「仮想的有能感における自己概念の検討」 (日本心理臨床学会第29回秋季大会発表論文集, 499, 東北大学 2010年9月) [共同] 3) 「対人恐怖と自己愛の相互関係モデルにおける自己概念と怒り感情」 (日本心理学会第74回大会発表論文集, 23, 大阪大学 2010年9月) [共同] 4) 「シャイネスと親和動機及び感情表出の制御が友人関係の満足感や精神的健康に及ぼす影響」 (日本心理学会第74回大会発表論文集, 41, 大阪大学 2010年9月) [共同] 5) 「中学生の対人恐怖-自己愛

傾向と不安症状の関連」(日本心理学会第74回大会発表論文集, 338, 大阪大学 2010年9月) [共同] 6) 「自己愛研究の最前線(3) 一人関係における自己愛の諸相」(日本心理学会第74回大会 ワークショップ, 大阪大学 2010年9月) [共同] ⑥ 「感覚統合療育キャンプSV」(NPO 法人広島発達支援の会リバシー主催 広島市似島臨海少年自然の家 8月28-29日) [共同]

#### 社会・情報学講座

澤木幹栄 ② 「言語地図の孤例についての再検討」(単著) (『日本語研究の12章』明治書院 2010年6月) ⑤ 「コーパスを利用した日本語研究とインターネット検索の可能性」長野言語文化研究会・2010年12月11日・あがたの森文化会館(松本市)

村山研一 ① 『安曇野の地域社会と景観に関する研究』(2009年度安曇野市受託研究報告書, 134p.) [共著] ② 1) 「国立公園とダム建設問題」『上高地・槍・穂高地域における自然環境の変動と保全・適正利用に関する総合研究(平成20・21年度文部科学省特別教育研究経費(連携融合事業)報告書)』山岳科学総合研究所, pp.427-437 [単著] ④ 1) 「上高地のダム建設計画」『信州大学山岳科学総合研究所ニュースレター』第21号, pp.2-3 [単著] 2) 「書評:鳥越皓之, 家中茂, 藤村美穂『景観形成と地域コミュニティ』」『村落社会研究ジャーナル』No.33, pp.50-51 [単著] ⑤ 1) 「国立公園とダム建設問題」(山岳科学総合研究所研究報告会, 2010.2.27, 信州大学理学部) [単独] ⑥ 1) 『青木村の地域づくりと住民意識(自立と人づくりの村2)』(信州大学人文学部社会・情報学講座, 195p.) [共編著] 2) 「地方分権時代の地域づくり, コミュニティづくりについて」(安曇野市地域協議会委員研修会, 2010.1.19, 穂高交流センター「みらい」) [講演] 3) 「SGK フォーラム・これからの産学官連携」(信州大学産学官連携推進本部地域ブランド分野, 2010.3.9, ホテルサンルート長野) [コーディネーター] 4) 「上高地とダム建設問題」(山岳科学総合研究所・第8回上高地談話会, 2010.5.22, 信州大学理学部) [単独] 5) 「安曇野という地名, 安曇野の景観イメージ・・・「安曇野のコミュニティ形成と景観形成をめぐる社会調査」より」(信州大学人文学部委託調査研究報告会, 2010.7.19, 安曇野市豊科ふれあいホール) [報告] 6) 「地域ブランド構築の意義と可能性」(立科町キックオフフォーラム, 2010.9.26, 立科町老人福祉センター) [講演, コーディネーター] 7) 「青木村の地域課題と地域コミュニティ」(青木村社会調査実習(2008~2009年度)報告会, 2010.10.16, 青木村文化会館) [報告] 8) 「「地域ブランド戦略」による地域活性化・・・「信州」の特色に立脚した地域振興・再生をめざす」(『広報』2010年12月号, pp.26-30) [雑誌取材] 9) 「地域ブランドに取り組む」(岩手県沿岸振興局・地域ブランド構築ワークショップ第1回全体研修会, 2010.12.14) [講演]

菊池 聡 ④ 「超常信奉 一大学生を分析対象として」翻訳記事解説 (Journal of the Japan Skeptics vol.19. No.1 p.12-13.) [単著] ⑤ 1) 「クリティカルシンキング教育における哲学と心理学」(日本応用哲学会第2回大会, 4月25日, 北海道大学) [単独] 2) 「なぜ「問題商法」にだまされてしまうのか」(日本家庭科教育学会北陸地区第27回大会, 7月24日, 信州大学教育学部) [単独] 3) 「人はなぜ不思議な現象を信じてしまうのか」(青山心理学会, 11月16日, 青山学院大学) [単独] 4) 「疑似科学という信念と錯誤」

- (南山大学社会倫理学研究所「科学技術と倫理」シンポジウム, 12月11日, 南山大学) [単独] ⑥ 1)「だまされる心の心理学」(長野県母子寡婦福祉連合会講演会: 信州大学出前講座, 7月4日) [単独] 2)「「おたく」と呼ばれる若者たち」(塩尻市両小野中学校講演会: 信州大学出前講座, 10月22日) [単独] 3)「だまされる心の心理学」(柏ジモト人材育成事業研修セミナー, 11月5日) [単独] 4)「だまされる心の心理学」(伊那市西春近南小学校講演会: 信州大学出前講座, 11月16日) [単独] 5)「「おたく」と呼ばれる若者たち」(長野県学校保健研究会: 信州大学出前講座, 11月25日) [単独]
- 祐成保志 ① 1)『北海道における社会調査の水脈』(札幌学院大学 SORD プロジェクト, 158頁) [共著] 2)『安曇野の地域社会と景観に関する研究』(信州大学人文学部社会・情報学講座, 136頁) [共著] ③『文化社会学入門: テーマとツール』(ミネルヴァ書房, 234頁) [共著] ⑤ 1)「戦後北海道における社会調査史の再構成とデータアーカイブの構築(2): 貧困調査と生活構造論」(第83回日本社会学会大会・一般研究報告, 名古屋大学) [単独] ⑥ 1)「信州大学人文学部社会・情報学講座調査報告会」(10月16日, 青木村文化会館) [共同] 2)『青木村の地域づくりと住民意識: 自立とひとつづくりの村2』(信州大学人文学部社会・情報学講座調査実習報告書) [共編著]
- 辻 竜平 ② 1)「中学生の人間関係の認知・評価と一般的信頼」(『理論と方法』, 25(1): 31-47) [共著] 2)「地域コミュニティによる犯罪抑制: 地域内の社会関係資本および協力行動に焦点を当てて」(『社会心理学研究』26(1): 36-45) [共著] ⑤ 1) "Social Capital of Volunteers of A Classical Music Festival: How Is It Related with Participation in Other Events and Activities?" (Sunbelt 30th, July 3, Riva del Garda Fiere Congressi, Riva del Garda, Italy) [共同] 2)「文化的イベントとソーシャル・キャピタル及び精神的健康の関連」(9月17日, 日本社会心理学会第51回大会, 広島大学) [共同] 3)「社会的活動への参加と社会関係資本の諸側面: ポジション・ジェネレータを用いた分析」(9月17日, 日本社会心理学会第51回大会, 広島大学) [共同] ⑥ 1) 数理社会学会庶務理事(事務局), 2009年4月~2011年3月 2) 社会心理学会編集委員, 2007年4月~2011年3月 3) 社会調査協会編集委員, 2010年5月~ 4)『青木村の地域づくりと住民意識(自立とひとつづくりの村2)』(信州大学人文学部 社会・情報学講座) [共編著]

#### 歴史学講座

- 久保 亨 ① Kubo Toru "China's Economic Development and the International Order of Asia", in Akita, Shigeru and White, Nicholas J. ed. *The International Order of Asia in the 1930s and 1950s*, Ashgate, 2010, pp.233-254 [単著] ②「關於戦時華北工業普查」, 天津社会科学院・天津市社会科学界連合会主辦『城市史研究』第26輯, 天津社会科学院出版社, 2010年9月, 59-80頁, 査読有り [単著] ④「五十年代中国研究に向けた国際協力: 『一九五〇年代的中国社会: 档案与民間史料研読班工作會議』参加記」『信大史学』第35号, 2010年, 66-73頁 [単著] ⑤ 1)「20世紀中国経済的国際環境」, 第3回“近代世界と中国”国際シンポジウム, 2010年5月22-23日, [北京] 中国社会科学院近代史研究所 [単独] 2)「20世紀江南城市棉紡業的曲折發展」, “明清以来の江南都市の發展と文化交流”国際シンポジウム, 2010年8月15-16日, [上海] 復旦大学 [単独] 3)「民国末期經濟

自由主義的發展趨向], 第6回“中華民國史”國際シンポジウム, 2010年8月20—21日, 南京大学 [単独] 4) 「日本の“50年代中国社会研究”的成果和史料」, “1950年代の中国社会: 文書史料と民間史料に関するセミナーを準備するためのワークショップ”, 2010年9月18—19日, [上海] 華東師範大学 [単独] 5) 「同時代日本の中華民国認識」, 民国史論の会ワークショップ “20世紀中国における立憲主義と自由”, 2010年10月2—3日, 広島国際会議場 [単独]

笹本正治 ①1) 『善光寺の中世』(高志書院) [共著] 2) 『山・ひと・自然—厳しい自然を豊かに生きる—』(信州大学山岳科学総合研究所) [共著] ② 1) 「柄山熊野神社のケヤキをめぐる」(『山と建築 vol.2 里山の再生とその未来』12-17頁) [単独] 2) 「穂高神社の信仰」(『山岳科学総合研究所ニューズレター』第21号2-3頁) [単独] ④ 「歴史ブームなぜ続く? 自分で考えて判断大切」(『信濃毎日新聞』9月4日) [単独] ⑥ 1) 「諏訪信仰をめぐる—信仰の源は自然への畏敬の念—」(八十二文化財団, 2月22日, シルクホテル [飯田市]) [単独] 2) 「諏訪信仰について」(『考古学と中世史研究会』世話人会, 3月7日, 諏訪市博物館) [単独] 3) 「諏訪信仰の根元について」(八十二文化財団教養講座, 3月10日, あがたの森文化会館講堂) [単独] 4) 「戦国時代のムラと城」(考古学講演会「高遠城の攻防と一夜の城」, 長野県考古学会, 3月28日, いなっせ) [単独] 5) 「穂高神社の信仰について」(八十二文化財団教養講座, 3月30日, あがたの森文化会館講堂) [単独] 6) 「山辺谷の治水と景観」(松本市里山辺公民館, 5月21日, 松本市教育文化センター3F ホール) [単独] 7) 「穂高神社の信仰」(上高地談話会, 5月22日, 信州大学理学部C棟2階大会議室) [単独] 8) 「戦国時代の会田・旧四賀地域」(会田宿を守る会, 5月30日, 四賀支所講堂) [単独] 9) 「御柱について—諏訪信仰とは何か—」(山梨学院ともまなび講座, 6月12日, (岡谷市) イルフプラザ3階) [単独] 10) 「穂高神社の信仰について」(安曇野市教育会, 7月29日, 社会科実技講習会) [単独] 11) 「ふるさとの歴史—清川地区から日本を見る—」(山梨県甲斐市清川公民館, 8月21日, 地域ふれあい館) [単独] 12) 「戦国時代の松本平」(重要文化財「馬場家住宅」公開講座, 名古屋大学, 9月4日 [単独] 日, あがたの森文化会館講堂) [単独] 13) 「信濃村上氏シンポジウム」コーディネーター(坂城町鉄の展示館, 10月23日, 坂城テクノセンター) [単独] 14) 「武田信玄と松本平」(松本市中央図書館, 10月30日, 松本市中央図書館) 15) 「木曾川シンポジウム・歴史篇『木曾川の歴史と文化』」コーディネーター(一宮市博物館, 11月7日, 一宮市博物館) [単独] 16) 「信州の信仰と文化」(長野県文化財保護協会, 11月11日, 塩尻総合文化センター講堂) [単独] 17) 「信州の信仰と文化」(長野県文化財保護協会, 11月12日, 長野県立歴史館講堂) 18) 「展開する開発の意識~戦国時代の開発と人々の暮らし~」(山梨学「山梨の人と文化9」基調講演とシンポジウム, 山梨県生涯学習センター, 11月19日, 男女参画共同会館) [単独] 19) 「松本城の歴史」(松本信用金庫中町支店経営者勉強会, 11月22日, 燦祥館) [単独] 20) 「展開する開発の意識~戦国時代の開発と人々の暮らし~」(財団法人信州農村開発所, 12月11日, 佐久勤労者福祉センター) [単独]

大串潤児 ①1) 「民衆生活からみた占領期」国立歴史民族博物館・原山浩介編『占領下の民衆生活 総合展示第6室<現代>の世界2』東京堂出版2010年5月, 90-106頁 [単独],

他に「コラム1 「占領」の記録の宝庫」(107-109頁), 「コラム2 敗戦から占領—ひとつの原風景」(110-112頁), 「コラム3 山村の「ハゴン」」(113-116頁) 2) 「『韓国併合100年』の長野県地域史研究」『信大史学』第35号, 2010年11月, 35-53頁 [単著] ④大串潤児「安保闘争50年の地域史研究—新津新生『青年たちの六〇年安保 長野県からみる闘争の足跡』(川辺書林, 2010年)によせて」『信濃』第62巻第11号, 2010年11月, 65-75頁 [単著] ⑥ 1) 「『有明村報』とその時代」安曇野市・信州大学: 連携協定に基づく研究成果報告会, 2010年7月15日, 於・安曇野市豊科公民館 [単独] 2) 「大きな地域と小さな地域—東アジアと日本占領」神奈川県高等学校教科研究会社会科部会歴史分科会・日本史セミナー, 2010年8月5日, 於・神奈川県立柏陽高等学校 [単独]

山本英二 ① 1) 「日本中近世史研究における由緒論の総括と展望」(歴史学研究会編『シリーズ歴史学の現在 12 由緒の比較史』青木書店, P3-27) [共著] 2) 「創り出される由緒の家筋」『エビローグ』(白川部達夫・山本英二編『〈江戸〉の人と身分 2 村の身分と由緒』吉川弘文館, P70-97, P213-217) [共編著] 3) 「温泉と美人局—信州浅間温泉に見る入湯行動—」(佐藤孝之編『古文書の語る地方史』天野出版工房, P110-118) [共著] ② 1) 「被害届からみた温泉の近代—石川県粟津温泉を事例として—」(『地域ブランド研究』5号, P1-9) [単著] ④ 1) 「青木安清」「岩田信忍」「岩佐茂高」「鶴飼実道」「大貫光豊」「奥野俊勝」「木村勝教」「五味豊直」「篠本彦次郎」「佐橋佳如」「佐橋佳富」「高柳元匿」「林鶴梁」(竹内誠他編『徳川幕府事典』東京堂出版, P2-3, P99, P97-98, P104, P145-146, P174, P241, P287-288, P314, P323, P390, P539) [単著] ⑤ 1) 「幕末の尾張藩と朝廷—和宮下向と風聞—」(名古屋市栄中日文化センター講座, 1/15, 2/19, 3/19) 2) 「遠山の金さんと天保の改革」(名古屋市栄中日文化センター講座, 4/16, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17) 3) 「徳川将軍で学ぶ江戸時代」(名古屋市栄中日文化センター講座, 10/15, 11/19, 12/17) 4) 第47回長野県部落解放研究集会「松本領の被差別民の暮らしと文化」(1/27, 安曇野市穂高会館) [単独] 5) 2009年度白馬村人権学習会「松本領内の被差別民の暮らしと文化」(3/24, 白馬村ふれあいセンター) [単独] 6) 2010年度長野県同和問題企業連絡会同和・人権問題研究セミナー「長野県の被差別民の暮らしと文化—政治起源説の克服と教科書叙述の変化—」(10/4, 長野市ホテル信濃路) [単独] 7) 第10回白馬村青少年育成村民大会「偽文書から考える日本史」(11/13, 白馬村ウイング21文化ホール) [単独] ⑥ 1) 愛知大学文学部春学期非常勤講師「古文書読解」 2) 日本古文書学会編集委員 3) 徳川林政史研究所特任研究員 4) 関東近世史研究会評議員